

**特集 全厚労第70回  
定期大会in長野**  
ハイブリッドで開催



**全 国 労 働 組 合 連 合 会**  
厚生連  
〒110- 東京都台東区入谷  
0013 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日 定価 30円  
<https://www.zenkouro.org/>

3面詳細

**全厚労ニュースが  
大きく変わります!**

# 労働組合活動を バージョンアップへ



全厚労、一致団結して、ガンバロー (長野・アクティホールにて)



zoom参加者も合わせて、拳を上げました

9月9、10日、全厚労は第70回定期大会を、JA長野ビル・アクティホールにてハイブリッド形式で開催しました。直接、人が集まったのは3年ぶり。役員6割強、代議員の4割弱が会場に集まり、オンラインの参加と共に21年度の総括と22年度の方針を決定しました。

## 半数が長野会場にリアル交流深める

定期大会には、オンラインも含め役員・代議員ら計19

県110名(委任含まず)が参加し、メイン会場のアクティホールには、約半数

の51名が集まり、感染対策を取りながら大会を進めました。

主催者あいさつで、岩本一宏委員長は、「コロナ禍でなかなか直接会う場がなかったが、21年度は日本看護協会との直接懇談や、国

会議員要請行動も行ってきた。看護協会出身の石田昌弘参議院議員からは、「診療報酬改定で看護職員夜間配置加算を5点上げたのは賃金を意識してのこと。労働組合には賃金引き上げを頑張ってもらいたい」とメールをもらった。10月からも処遇改善評価料が算定されるが、しっかりと賃上げに繋がらないとこれまでの運動が水の泡になってしまう」と訴えました。

## 各県・中央で粘り強く運動

松尾晃書記長が議案提案。21年度の総括として、①生活給

である一時金の確保、引き上げに向けて、全厚連への度重なる要請と各県での粘り強い交渉を行ってきたこと、②処遇改善補助金活用も全ての県で行われたこと、③21年春の衆議院議員要請に引き続き、22年春参議院議員要請行動を各県からの組合員参加で行えたこと、④コロナ禍で

も専門部を中心に、ハイブリッドでの様々な企画・集会以て組合運動を強めてきたこと、等を報告しました。運動方針案では、22年度の重点として、①「働き方」にゆとりを持ち、全ての労働者にとって魅力のある医療職場へ、②住民が安心して「地域医療提供体制」の維持・向上へ、(住民・諸団体と)連携を進める、③「平和」であってこそその「暮らし」。日本憲法の理想を目指す運動を、④「組織拡大・財政強化中期計画(案)」策定に向けた検討、⑤組合員への情報提供など、デジタル化社会に向けたニーズ改革の試行(3面に詳細)を提案。「生活と医療と平和を守る」の全厚労スローガンにふさわしい運動を進めようと呼びかけました。

## 22秋の集会企画運動への参加を

全厚労では、10月に秋田で幹部・看護師集会を、11月に愛知県豊橋市で医療研究集会を開催する予定(いずれもハイブリッド)にしています。10月20日には、銀座パレードを含めた「#いのちまもる」国民集会も行われます。オンライン含めて多くの組合員の参加を呼びかけます(紙面下参照)。

### 秋の集会 その3

**第39回医療研究集会in豊橋**  
今こそ守ろう 地域の医療と介護

11月18～19日  
ロワジールホテル豊橋



学習講演  
「日本の貧困と社会保障  
運動の課題(仮題)」  
講師●唐鎌 直義 教授  
(佐久大学人間福祉学部)

### 秋の集会 その2

**10・20総行動 #いのちまもる**  
医療・社会保障を立て直せ!

10月20日 13:00～  
日比谷野外音楽堂

ゲスト●  
せやろがいおじさん  
お笑い芸人・youtuber



### 秋の集会 その1

**第34回幹部・  
看護師集会in秋田**

10月14～15日  
ANAクラウンプラザホテル秋田



学習講演  
「看護職の働き方改善と  
看護の力(仮題)」  
講師●林 千冬 教授  
(神戸市看護大学)

※いずれも詳細は、各県労組へお問い合わせ下さい。

# 大会での報告と討論内容

**第70回定期大会では、当日発言と文書発言を合わせ、各県より14本、専門委員会から4本の計18本の発言があり、そのうち当日発言は14本でした。大会での報告と発言を一部抜粋し紹介します。**

## 茨城・藤田周さん



21秋闘の年度末交渉は21春闘からの継続的闘いとして臨んだ。21春闘は会から夏1・5、冬1・5、剰余が出れば年度末に1ヵ月分という提案だった。前年もコロナ禍で経営に協力したので2年連続は許せず、「夏の2ヵ月は払えるのだからきちんと払い、冬とは切り離して交渉せよ」と迫り、夏2ヵ月を確保した。組合は今後も、「生活給として年間4ヶ月」の要求をブレずに守っていく。

## 三重・畑中剛喜さん



昨年9月の労使協議会で会側より、新人事給与制度のたたき台の説明。その後、各支部への説明会を依頼し開催。10月の労使協議会で問題点を指摘、その後も意見や問題点を集約し提出、11月に回答を求めた。たたき台では、賞与

は「55歳以上の管理職及び役職者のみが満額に改善」だったため「対象職員の一律支給」「危険手当2の廃止」「待機手当の改善」を要望し、再度各支部への説明会等を行い、賛成7支部、反対1支部の中で12月に合意した。今回の給与変更は給与枠の変更を要しないので、長年解決できなかった55歳以降の賞与50%支給を改善させた。負担となっている、宿日直、待機、夜勤の手当が増額されたことはプラスと考えている。その他課題はいくつも残っているが継続協議を進める。

## 広島・田邊将寛さん



秋闘要求では、2.4ヶ月+2万円、コロナ手当を求めた。交渉を繰り返して2.4ヶ月+1万円とコロナ手当全職員5万円を勝ち取った。春闘では「将来的に夜勤6日を指す」確認書を交わした。実現に向けては時間を要すると思うが、会側と夜勤の有害性や過酷さを共通認識し、前進

できたことは大きな進歩。「子の看護休暇」では、22年7月1日より無給から有給にすることができた。この1年の前進は、組合事務所に相談に来た多くの組合員の要望や相談に1つずつ丁寧に対応し、やってきた成果。まだまだ活動制限は続くが、各支部単位でしっかりと下地を作り活動を行なっていく。

## 長野・小林吟子さん



22春闘では、定期昇給+ベースアップ4万円を要求。会は「年間一時金を3.8ヶ月。定昇確保」と回答。ベアにわかる全職員対象手当は「10月からの診療報酬の詳細が決定しておらず、負担額が見込めないこと、4週8休導入実現の場合は実質的なベアになるため、現段階では財務状況が見込めず支給は困難」と回答。労組は「20年間ベアがなく、生活負担も増加、組合員は再構築への努力も惜しまず一時金削減にも理解を示してきた。財務状況や、施設光熱費の高騰影響は理解できるが、職員の実質賃金は物価高騰も含め減少。よりよい医療・介護を提供できる努力を最大限払ってきた職員的生活水準が低下の現状に対して、改善の方向性を見つけようとする姿

勢がまったく見えない」との反論に会も理解を示し継続協議となった。

## 福島・船木裕子さん



秋闘・春闘で組合員からあがったほぼすべての要求と専門部からの要求を提出。秋闘5項目、春闘では6項目で前進回答を得た。秋闘では、青年部からの継続要求である「出産休暇の取得可能期間」を10日から14日に拡大させた。春闘では、助産師に新たな手当を獲得した。また看護・介護職員等処遇改善事業補助金は看護職4千円、介護職7千円が支給となり会の持ち出しもあり非対象である2病院も含め全病院の臨時・パートを除く看護師と、全施設で働く介護職と病院で勤務し介護職の給料表扱いになっている介護職と相談員にも支給した。

## 神奈川・中村淳一さん



伊勢原協同病院の検査室で、7年にわたって管理者によるパワハラが続いた。この間5人が退職と異動に追いやられた。具体的にはスタッフ全員に月末提出書類のミスの減点を表の張り出しや、「人事考課をする」と全員の前で辱めを行った。入念な準備を経て団

交を行い、事務長が思わず謝罪するほどの94ページに及ぶ証拠を突きつけた。その結果パワハラ当事者の配置転換が行われた。振替休日と年休が0.5日ずつに分割された法違反問題も改善することを約束させた。昨年12月には3年分の振替休日の割増賃金を15人分で約100万円支払わせた。その他合わせて10項目の要求を勝ち取った。36協定の実務点検者の実績を基に、新しい組合事務所を提供させた。今後は事務所を活用し、他の職場にも労基法違反是正の取り組みを広げ一層強化する。

## 岐阜・岡村秀人さん



夏季団体交渉前に「緊急アンケート」を実施。労使交渉で結果を突きつけ、会側も「参考になった」と言っていた。主任級以上の時間外手当の併給調整の是正・撤廃については、撤廃とはならなかったが、初めて会側も「問題視している」として、継続協議を確約させた。人員確保は、労使交渉の中で、各事業所の「労働安全衛生委員会」で、要員計画を労使一緒に策定しようという提案があった。組織強化について、全8支部中6支部で加入率が50%を切り、岐阜厚全体でも38.6%と低い加入率。今年度執行部で加入の促進と脱退の防止に様々な取り組みを、まずは目に見える対策として、「リロクラブ(株式会社社福利

厚生倶楽部)「福利厚生サービスの5年間試行を大会で決めた。

## 富山・橋優人さん

昨年度の一時金闘争では収支状況が厳しいなか、2.0ヶ月の支給、さらにコロナ対応手当として一律5万円の支給。55歳以降の6割支給対象者は暫定措置としながら昨年同様8割支給。年度末一時金では敢闘手当0.2ヶ月の支給と一律5万円の支給。55歳以降の6割支給対象者は減額なしの満額支給となった。夏期一時金は、収支は計画未達のなか、2.0ヶ月の支給。55歳以降の6割支給対象者は暫定措置としながら8割5分支給となり、少しずつだが支給率の改善となった。看護師の確保策として看護師調整手当の倍額や随時募集の支度金の増額など賃金に関する処遇改善が行われた。年齢構成が高い、栄養士・調理師を新たに4名を確保。60歳以降の継続雇用制度においてすべての職種の賃金が増額となり、大きな前進となった。これまでに「医療手当の段階的削減(平成15年〜18年)」と「暫定給からの減額措置(平成19年〜令和2年)」が継続され、労働組合として一定の理解と協力をしてきたが、22春闘では減額措置のない定期昇給の実施と、ベースアップを強く訴え、20年ぶりの満額の定期昇給となった。

## 愛知・沖公平さん

21年度は12月の時点で経営側の判断により冬季一時金と

は別に「特別な賞与」として簡率0.5ヶ月が支給された。22年春闘では①21年度末賞与の最大限の支給、②定期昇給の実施、③年間4.0ヶ月の一時金支給の確約を求め、いずれも満額回答であり妥結。さらに、経営側(理事長)の判断により年度末賞与とは別に一律金10万円が支給。コロナ対応に奮闘する職員の努力を評価すべきとの労使共通の思いが形になったものと考えている。他に、過去何度も交渉を重ねた経緯のある通勤手当(有料道路代)の、「支給額上限4万5千円撤廃」を要求。結果、上限撤廃は実現しなかったが、現状の上限4万5千円を勝ち取った10年前の交渉時に「今後再検討しない」と確認したことを打ち破り、今回の交渉によって再度検討の週上に乗ったという成果を得た。

## 徳島・榎口浩之さん

秋闘では深夜勤務の前日のインテール確保のために半日勤務か休日となり、実質的な休日が減少している部分の年2回、半日の勤務免除を勝ち取った。年末交渉では、根気強く交渉し59歳以上の職員に対し現在の算定率40%にプラス5万円という回答。年度末交渉も2回の団体交渉を行い4次回答として一時金2万円、補助金8千円の計3万円を引きだし妥結。春闘では56歳以上の一時金支給率の改善交渉を主に行い、現行59歳以上の算定率40%を、59歳は50%、60歳は45%と前進回答を得た。手術室勤務手当も

## 採決状況

採決時代議員数  
(委任含む・議長除く):78名

1号議案:満場一致  
2号議案:満場一致

## 高知・北村雅志さん

秋闘では要求書の内容を上回る一時金を、春闘では昨年度と同等の一時金を獲得した。組織拡大では新人オリエンテーションを6月に開催し、新人職員7名が加入。高厚労はここ数年組織拡大に力を入れ、積極的に組合についてPRを行い、加入促進に努めている。その甲斐もあって、減少していた組合員数もここ数年で回復してきている。昨年度看護師の夜勤手当倍額支給を廃止したため、これまで春闘で訴えてきた看護師の夜勤回数8回をより確実に守らせるよう看護部長とも話し合い改善してきている。今後の重点課題は組織拡大、ここ数年の新人オリエンテーション後の新人加入率は好調で、今後も引き続き新人の加入や未加入者への勧誘も積極的に行い、目標である組合員数百人をクリアし、その後も組織拡大するように努めていく。

# 「言いたい劇場」

小菅りや子



# 22年度・全厚労ニュースが大きく変わります! 完全デジタル発行を試行 内容一新



組合員の目に止まるニュースを目指した紙面

全厚労ニュースは、1974年に創刊し、22年4月号で500号を迎えた全厚労の機関紙で、創刊時は大判（現在の新聞と同じ大きさ）から、途中B5版のリーフ形式へ、そして07年からは現在のタブロイド判と判型は変わりつつも、組合員向けに全厚労や各県の取り組み・運動や学習資料などを提供してきました。多くの人たちの情報収集方法が、紙媒体からネットに移行していき労働組合の教宣活動としての課題が浮き彫りになる中で、今年度、ニュースの完全デジタル化を「試行」することとしました。

全厚労教宣部では、この取ってもらえるような機関紙、ホームページやツイッターによるデジタル情報提供を進めてきました。また併せて印刷物としての全厚労ニュースも、組合員に役立つ、興味を持って手に

取ってもらえるような機関紙が減っている、様々な印刷物に紛れてしまうことが多いなどが出てきました。全厚労ニュースはホームページにも掲載しているの、後日参照できるように、最初からネットで見られる人にとって紙媒体は必要ないということになります。

一方、紙媒体のメリットとして、紙配布によって手に取る場合がある、組合のオルグや学習活動にも使いやすいなどがあります。またニュース発行を心待ちにしている方も一定数いると思われ、現時点で完全に紙ベースの発行をなくすことは出来ないと考えました。

また紙面のカラー化は、必須の対応です。モノクロよりカラー紙面はアイキャッチ効果が高く、目に止まらなくて取りうる可能性も上がり、デジタル化で浮かした予算を通常印刷号のカラー化に充てることにしました。もちろん紙面内容も、集会后の追記記事等ばかりでなく、全国各地で組合員が頑張っている紹介記事や職場で活かせる情報を掲載していきけるよう紙面改革も進めていく予定です。

## メッセージを寄せて頂いた組織・団体

### ●全国組合

全医労 全日赤 全JCHO労組 全労災 国共病組

### ●医労連・県医労連

日本医労連 青森県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 群馬県 埼玉県 長野県 福井県 愛知県 滋賀県 京都 大阪 奈良県 広島県 福岡県

### ●友誼組合・友好団体

全労連 全農協労連 鹿児島県農協労組 建交労 国公労連 国民救援会中央本部 母親大会実行委員会 日本原水協 日本医療総合研究所

(順不同)

## 全厚労ニュース 発行スケジュール(案)

デジタル号では、各月20日からHPにアクセスして見ることができます。通常の印刷号は、全ての号で表(1・4)面がカラーとなります。なお企画内容は変わることがあります。

22年9月 定期大会特集号(今号)

10月 幹部・看護師集会(秋田)など

### 11月 デジタル号

秋の厚生労働省交渉など

12・1月 合併号(8ページ建て) 新年号企画

### 2月 デジタル号

春闘アンケート分析結果など

3月 春闘・新人向け、職場活動のヒント

4月 春闘情報・労働者の権利学習など

※3・4月号は特に新人・若い人向けの企画を検討しています。

### 5月 デジタル号

メーデー・ナースウェブ、平和の取り組み、母性保護月間など

6月 組合活動の役立つ実践例など

7月 年度の取り組み紹介、専門部など

### 8月 デジタル号

原水爆禁止世界大会、平和企画

## 2022年度 全厚労役員

### ●中央執行委員長

岩本 一宏(広島・再)

### ●中央副執行委員長

中村 悟(秋田・再)

花澤 直樹(長野・再)

西田 知弘(岐阜・再)

大栗 陽(徳島・再)

### ●書記長

松尾 晃(本部・再)

### ●書記次長

岡野 学(本部・再)

### ●中央執行委員

池田 裕晃(北海道・新)

佐々木 崇(福島・再)

大平 雅浩(新潟・元)

大崎 泰信(富山・新)

市川 貴之(長野・新)

加藤 裕樹(茨城・新)

平井 真史(熊谷・新)

中村 淳一(神奈川・新)

平岡 眞弓(静岡・新)

藤原 佑樹(愛知・新)

岡村 秀人(岐阜・元)

岡野 元保(三重・元)

### ●中央執行委員

高本 奉彦(広島・再)

松田 純一(山口・再)

川田 祐生(香川・再)

島山 宗(徳島・再)

堀野 翔太(高知・新)

中野 綾(大分・再)

越崎 祐輔(北海道・新)

関原 宏幸(長野・再)

杉野 諒(岐阜・新)

### ●退任された役員

下保 誠史(北海道)

和田 祐輔(新潟)

浦田 孝之(富山)

高橋ただし(長野)

宇留野正志(茨城)

岡部 義秀(神奈川)

天野 雅史(静岡)

荒川 博昭(愛知)

田口 学(岐阜)

小掠 瑞樹(三重)

由比 智一(高知)

橘 優人(富山)

稲葉 功(静岡)

## 大会役員

### ●議長

奥井 明子(秋田)

大平 雅浩(新潟)

市川 貴之(長野)

小西 正規(秋田)

清水 孝則(長野)

★岡村 秀人(岐阜)

李保 貴幸(香川)

岡野 学(中執)

池田 裕晃(北海道)

### ●選挙管理委員会

池田 裕晃(北海道)

### ●大会事務局

★吉井 京湖(茨城)

山本 祐二郎(静岡)

万里 昌美(徳島)

### ●大会書記

西澤 由美(長野)

小布施 美佐(長野)

三北 福島

関 信・長野

東海 岐卓

西日本・徳島

★印は委員長

# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第177回は熊谷と徳島をお願いします。

社会医療法人熊谷総合病院で臨床工学技士、熊総労で書記長をしております平井真史です。現在は、機器管理がメインでいろいろな所で修理や点検をしています。当院では今月患者・職員の感染者が過去一で、正念場となっています。さらにこの数年で色々なものが値上げされ、上がらない給料と上がったままの消費税で、みんなストレスは限界をとうに超えていると感じています。



熊谷 平井真史さん

そんな中の私のストレス解消はコーヒーを飲むことです。大学時代に美味しいドリップコーヒーを教わり、インスタント→コーヒー粉→豆から挽くところまで来ています。何も考えずに、ミルで豆をゴリゴリと挽いて飲む一杯は最高です。コーヒーが苦手な方も挽き方や豆によっては飲みやすいものもありますので、一度お試しあれ。  
最後に今年から全厚労の中央執行委員となりました。以後よろしくお願いたします。

徳厚労の組合活動にはなくてはならない西村真弓さんを紹介します。

西村さんは阿南医療センターの看護師として勤務し、執行委員として活躍されています。次年度からは全厚労の看護委員として上部団体とのつながりを担うこととなっています。

西村さんの魅力は、ピューティーに特化していること・物怖じしないこと・現場の問題を的確に西村さんの言葉で闘争の場で伝えることが出来ます。家庭に帰るととても優しいご主人と4人のお子さんのママさんとして奔走しています。ぐいぐいと徳厚労を引っ張ってくれる自由の女神様として、その言葉にどきどきすることもありますが組合活動を協働していきたいと思えます。



徳島 西村真弓さん

## ザククロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2		3	4	5	6
			D			
7			8	9		
10		11		12		
	13		14		15	
16			17		18	
		19		20		21
22	23			24		25
26				27		

答 A B C D E F

- ヨコのカギ
- 1 商売をする人
- 4 名曲「恋人よ」は……真弓の歌
- 7 尺貫法での長さの単位
- 8 上着です
- 10 大きすぎですよ
- 12 数の名前の一つ
- 13 部活を……する高3生
- 15 ……言、……説
- 16 「……の灯」はチャップリンの名作
- 17 牛肉のランクを決める……の具合
- 19 ……君、……国
- 20 ……を切って支払う
- 22 満腹のふりして……
- 25 上司の逆……に触れる
- 26 平安貴族のサッカー?
- 27 特ダネです

- タテのカギ
- 1 聖徳太子は……時代の人物
- 2 ……耕助と明智小五郎は日本の名探偵
- 3 ……を踏む
- 4 憲法違反です
- 5 門柱状で細長い入れ物
- 6 ホームズの相棒
- 7 ……の材料
- 8 外側ではなく内側です
- 9 多いか少ないか
- 10 自宅で食事を受け取り
- 11 秋の味覚の王様の存在
- 12 北岳をしのぐ……山
- 13 事後……、熱……
- 14 牛の腰とももの間からとれる……肉
- 15 草を刈る農具
- 16 日本産業規格の合格製品に付ける……マーク

当選者(読者の声掲載者含む)15名様に図書(クオ)カードを差し上げます。答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。7月号の答えは「イチバンボシ」で、当選倍率は2.6倍(クロスワード・聞かせて、読者の声計15名当選)でした。

締め切り:2022年10月末日 消印有効  
あて先:〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労 ニュース係

## 読者の声

子供の保育園がコロナにより休園になりました。私も職場に出勤できず周りのスタッフには本当に申し訳ないと思いつつ休ませてもらいました。でもお互い様いつでも誰にでもありうることを、職場の方々が協力して私の仕事を分けてくれました。本当に感謝です。私もできることをしていこうと思えました。(長野)

就職してから一度もペアは無く、仕事の量は増え、さらに物価高騰で、実質賃金は下がっている。なにに防衛費、元安倍総理の国葬に莫大なお金がかかっているなんておかしい!国民みんなのためにお金を使つてほしいです!(長野)

同感です。賃上げをしてこなかったしわ寄せが国民の生活苦にきています。これこそ、政治の責任だと思つて。(HT)

物価に対応して、最低賃金の引き上げを。特に「地方在住」「再継続雇用」「年金未受給者」は三重苦です。大幅引き上げを強く希望します。(新潟)

同感です。賃上げをしてこなかったしわ寄せが国民の生活苦にきています。これこそ、政治の責任だと思つて。(HT)

## 聞かせて・教えて!のコーナー

☆7月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆  
質問1 7月号で一番興味があった面は?  
22春闘の成果や教宣部の広島3病院視察についての1面が14票でダントツ。次いで参院選後の社会保障等について2面が9票。母性保護月間についての3面4票、4面2票となりました。  
質問2 消費税、今後どうするべき?  
「現状維持」が14票と最多、ついで「減税」12票、「増税」2票、「その他」2票で「一般庶民は買わない高級品には税率を高くする」といった意見がありました。買い物をする子どもも払う消費税は、所得の少ない人に重く負担があり、社会保障の財源にふさわしいとは思えません…物価高の今、消費税どうするべき?について今後も考えていきたいですね。

### さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

- 質問1 9月号で一番興味があった面は?  
A=1面 B=2面 C=3面 D=4面
- 質問2 新年度スタート!全厚労ニュースに期待すること  
A=各県労組の成果や情報  
B=医療をとりまく情勢  
C=看護、青年層などに特化した内容  
D=その他、特集してほしいこと等  
(その他欄に具体的に記入ください)

全厚労ツイッター 職場の声を つぶやき中!

全厚労HPIはこちら!

読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。

### 教宣部の つぶやき

おもちゃ  
長男が仮面ライダー「リバイス」にハマった。私は幼少期そういう「おもちゃ」はあまり買つて貰えなかったの、変身ベルトを買ってあげた。それから半年ほどTVでは新しい仮面ライダー「ギーツ」が始まり、今持っているベルトは過去のものに……。結構いい値段するので、子どもには当分「リバイス」でいてくれと思った。それと同時に自分の親が私にこういうたぐいのおもちゃを買わなかったのは正解だった。(OK)